

STRATEGIC BUSINESS INNOVATOR

1999年、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとしてSBIグループは設立され、現在は、証券・銀行・保険などを幅広く手掛ける世界初の「インターネット金融コングロマリット体制」を確立しています。また、この事業に加えて、当社創業以前から取り組んできたベンチャー企業への投資を主とするアセットマネジメント事業、そして医薬品・健康食品・化粧品の研究開発・製品化から販売までをグローバルに展開するバイオ関連事業を3大事業と位置付け、SBIグループはStrategic Business Innovator（戦略的事業の革新者）として、持続的成長の実現に向けて日々、挑戦しています。

金融サービス
事業

多種多様な金融関連事業及び金融商品等の情報提供に関する事業を行っています。

主要グループ会社

SBIファイナンシャルサービスズ
(中間持株会社)

SBI証券
SBIリクイデティ・マーケット
SBI FXトレード
SBIジャパンネクスト証券
住信SBIネット銀行
SBIカード
SBI損害保険
SBI生命保険
SBI少額短期保険
SBIいきいき少額短期保険

SBIマネープラザ
SBIレミット
SBIベネフィット・システムズ
SBIビジネス・ソリューションズ
SBIビジネスサポート
SBIトレードウインテック
SBIソーシャルレンディング
SBIオートサポート
SBI BITS
SBI Ripple Asia



国内外のIT、バイオ、環境・エネルギー及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業のほか、資産運用に関連するサービスの提供を行っています。

主要グループ会社

- SBIキャピタルマネジメント
(中間持株会社)
- SBIインベストメント
- SBI VEN CAPITAL [シンガポール]
- SBI Hong Kong Holdings [香港]
- SBI Investment KOREA [韓国]
- 思佰益(中国)投資有限公司 [中国]
- SBI貯蓄銀行 [韓国]
- SBI Royal Securities [カンボジア]
- SBI Thai Online Securities [タイ]
- 上海新証財經信息咨询有限公司 [中国]
- YAR Bank [ロシア]
- SBIグローバルアセットマネジメント
(中間持株会社)
- モーニングスター
- モーニングスター・アセット・マネジメント
- SBIアセットマネジメント
- SBIアルスノーバ・リサーチ
- SBIエナジー
- SBIボンド・インベストメント・マネジメント
- SBIエステートファイナンス

医薬品の研究開発のほか、健康食品、化粧品の分野でもグローバルに事業展開をしています。

主要グループ会社

- SBI ALA Hong Kong [香港]
(中間持株会社)
- SBIバイオテック
- SBIアラプロモ
- SBIファーマ
- photonamic [ドイツ]



KNOWING
OUR
DIRECTION



革新へ導く経営の指針

経営理念は、経営トップの交代や環境変化があっても簡単に変更されることのない、企業の長期的・普遍的な価値観や存在理由を体現するものであり、企業の進む先を示し続ける指針といえます。SBIグループでは、経営理念に沿って長期的な目標を明確にし、社員が働く目的を共有しています。

創業の精神と企業哲学

SBIグループでは、企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できるという考えのもと、社会の維持・発展に貢献することを目指しています。また、人に徳があるように企業にも「社徳」があり、仁徳のある人が周囲から尊敬されるように、企業は社会から尊敬されるようこの社徳を高めることが肝要です。SBIグループはこのような精神に基づき、徳性を高め、企業活動を営んできました。

現在の社会は、インターネットをはじめとする革新的な技術の普及により絶えず変化しています。こうした時代の変化は、経済や金融のあり方、顧客のライフスタイルやニーズに大きな変化をもたらします。このようなことから、私たちSBIグループは創業以来、「顧客中心主義」を企業活動の中心に据え、常に時流を捉え、世のため人のためとなる革新的な商品・サービスの創出に挑むことで、企業価値を中長期的に向上させています。

企業としての普遍的な指針

【SBIグループ 5つの経営理念】

01 正しい倫理的価値観を持つ

「法律に触れないか」、「儲かるか」ではなく、それをすることが社会正義に照らして正しいかどうかを判断基準として事業を行う。

02 金融イノベーターたれ

従来の金融のあり方に変革を与え、インターネットの持つ爆発的な価格破壊力を利用し、より顧客の便益を高める金融サービスを開発する。

03 新産業クリエイターを目指す

21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディングカンパニーとなる。

04 セルフエボリューションの継続

経済環境の変化に柔軟に適応する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」を組織のDNAとして組み込んだ自己進化していく企業であり続ける。

05 社会的責任を全うする

SBIグループ各社は、社会の一構成要素としての社会性を認識し、さまざまなステークホルダー（利害関係者）の要請に応えながら、社会の維持・発展に貢献していく。

▼

VENTURING INTO A NEW PHASE





新たな価値の創出を通じた 持続的成長への挑戦

SBIグループは、インターネット時代における競争優位性を発揮するためには、単一の企業では成し得ない相乗効果と相互進化による高い成長ポテンシャルを実現する新しい組織形態である「企業生態系」の構築が必要と考え、金融サービス事業分野を中心とする「インターネット金融生態系」を構築し、飛躍的成長を遂げてきました。国内のインターネット金融生態系が完成した今、SBIグループでは新たな時代の潮流をいち早く捉え、持続的成長を実現するべく挑戦を続けています。

飛躍的成長の変遷

金融サービス事業では、インターネット金融生態系の構築を目指し、1999年の創設時に証券事業からスタートし、それをサポートする関連企業群を形成するとともに、銀行事業や保険事業など証券事業と親和性の高い事業を順次確立し、事業領域を拡大してきました。そして、証券・銀行・保険を3大コア事業とし、相互に相乗効果を発揮しつつ相互進化することで、競争上の優位性を具現化する体制を構築しました。同時に、投資事業では米国のインターネット金融企業へ投資するとともに、国内でこれらの企業とジョイントベンチャーを設立したほか、「新産業クリエイター」としてIT・モバイル分野といった21世紀の成長産業への注力投資を進め、運用規模を拡大させてきました。

さらに、事業の安定的な持続的成長を志向し、21世紀の成長産業であり、業績が景気動向に左右されにくく、高い成長率が見込めるバイオテクノロジー分野において、有望なバイオベンチャー企業の投資・育成に注力するとともに、バイオ関連事業を事業ポートフォリオに加えるべく、子会社の設立を通じて自らも同分野へ参入しました。

思い描く将来の姿

【新たな価値創出で持続可能な社会に貢献】

SBIグループは創業以来、インターネット革命と金融の規制緩和という2つの大きな時代の潮流に乗って、顧客のライフスタイルの変化や多種多様なニーズに対応することで新たな価値を創出してきました。そして今、世界ではFinTechをはじめ、IoT、AI、ビッグデータ等の革新的な新技術開発が急加速しており、まさに創業時以上の大きな潮流となる可能性を秘めています。また、人々の健康意識が高まる中で、活力ある豊かな社会の実現は人類の大きな願いのひとつであり、中でもバイオテクノロジーの進化は大きな期待が持たれています。SBIグループはこれまで同様、「顧客中心主義」を徹底し、未来に継承すべき企業理念やDNAを再認識しながら、このような社会の新たな潮流をいち早く取り込むことで、それぞれの事業セグメントにおける持続的成長の実現に向けて挑戦を続けます。

このように各事業セグメントにおける成長機会を的確に捉え新たなフェーズに移行するSBIグループは、常に新たな価値を創出し続けることで、持続可能な社会の形成に貢献します。